

令和5年5月24日

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
LCA 国際小学校	相模原市教育委員会	株

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
LCA 国際小学校	https://elementary.lca.ed.jp/about/assessment?menu

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
LCA 国際小学校	https://elementary.lca.ed.jp/about/assessment?menu	左記に同じ

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

外国人教師と日本人教師がチームを組んで、連携を図りながら教育活動を実施している。複数の教員による巡回指導を継続的に行うと共に、定期的な学力テストにより個々の児童の学習状況を把握し、必要に応じて個別指導や少人数指導等の手立てを実施している。また、英語に慣れ親しむための環境整備や、児童の実態に即したオリジナル教材の活用を積極的に行っている。

教育課程の編成・実施の考え方については、外国人教員が多いことから、日本語・英語と分けて研修を行うなど、より理解しやすい工夫を行っている。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

＜特記事項＞

学校便り、学年便り、学級からのお知らせなど、保護者向けに定期的な情報発信を行っている。また、年間行事予定を保護者も見られる共有ファイルにし、変更が即座に反映される仕組みにしている。学校ホームページを含めデジタルデータでの配信を積極的に進めると共に、予定変更にあたっては紙面によるお便りの配付など、丁寧な対応を行っている。

ここ数年、感染症対策からオンラインのみとしていた個人面談や懇談会を、来校による実施も可とし、対面による保護者との連携の充実を図った。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

各教科の授業を英語で行う英語イメージ教育を進めたことにより、児童の日常会話はもちろん、自分の考えや意思を表現することができる基礎的な力が育成されている。また、児童の発言力やプレゼンテーションの力、表現力なども優れている様子が見受けられる。外国人教師を通じて外国文化について触れる機会も多く、国際理解にもつながっている。

児童の多くが卒業までに英検2級、準2級に合格していること、中学校への進学の際、その英語力を活かし英語利用入試で受験に合格していることは、英語力を伸ばしていることの成果の現れであるといえる。

今後の課題としては、ここ数年、急速に進めてきているICT機器の利用に関する指導のさらなる充実、英語による学習指導要領の円滑な実践を行うための教員研修の継続などが望まれる。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

英検の合格率、難関中学校への進学率を見ても、英語力および国語力の育成において優れた効果が上がっていることは明らかである。

一方で、感染症対策の影響もあり、先進的な外国語指導、多文化理解など、当校ならではの特徴を生かした地域交流を、十分に行うことはできなかった。

4. 課題の改善のための取組の方向性

イベント的な行事のみならず、学習指導要領に基づいた適切な教育課程編成の中で、日本文化の理解や多様性の理解を深め、国際社会で活躍できる人材を育成していくことが望まれる。そのためには、外国人教員や経験の浅い教員に対し丁寧な研修等が必要であると考えられ、今後は地域の教職員との研修や交流にも積極的に取り組み、より一層の指導の充実を図ると共に、地域交流の活性化を図られることを期待する。